

国土強靱化に資する鳥取県の施策の効果事例

危機管理部 危機管理政策課

【起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）】

○ 2-2 道路寸断に伴う孤立集落の発生



【施策プログラム】

○ 迂回路のない孤立集落の発生に備えた既往道路の減災・防災対策の機能強化を進めるとともに、道路防災や土砂災害・山地災害対策による道路ネットワークの確保を図る。

（地域計画p96）

危険木等事前伐採の推進

倒木による集落の孤立やライフライン障害の発生等を防止するため、県・市町村・森林組合・事業者が連携し、危険木等の事前伐採を推進。

【実施状況等】

令和5年度実施実績：23地区（10市町）

令和6年度実施予定：25地区（8市町）

※令和6年度県予算 2,000万円

【事前伐採の事例（令和5年度）】

＜若桜町赤松＞



国土強靱化に資する鳥取県の施策の取組事例

生活環境部住宅政策課

【起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）】

- 1-1 地震による建物・交通施設等の倒壊や火災による死傷者の発生（住宅密集地、不特定多数施設含む）

回避するために

【施策プログラム】

- 住宅の耐震化については、建築士事務所協会等と連携した広報活動や、自治会等と連携した勉強会を実施し、官民連携を図り、住宅耐震化を推進する。
(地域計画p84)

建築士会等と協力し耐震化等に関するセミナーや講習会を実施。

〈R5実績〉

- R5. 12. 10 小学生向け防災セミナー
(建築士会東部支部主催)
- R6. 3. 16 YORAIYA角盤プロジェクト
地域住民対象の耐震講習会
(建築士会西部支部主催)



木造住宅の模型
(小学生向け防災セミナーで使用)

名古屋工業大学高度防災工学センター等の協力を得て、低コスト耐震改修工法に関する講習会を開催

〈講習会の対象者〉

- ・市町村担当課、県内の建築士や建設業者

〈低コスト工法〉

- ・名古屋工業大学が中心となり開発された工法。一般的な工法から6割程度のコストダウンとなる。
 - ・工期は半分以下で、天井や床の解体が不要。家具の移動等が少ないため、居ながら改修もしやすい。
- ※箇所あたりの耐力は一般的な工法の8割程度

〈実績〉

年度	開催日	内容	参加人数	主催者
R1	R2.2.19	設計演習コース	27	鳥取県
	R2.2.19	ベーシックコース	56	
	R2.2.20	施工講習編	26	
R2	R2.7.16	設計演習コース	15	鳥取県
	R2.7.17	設計演習コース	16	
	R2.10.29	アドバンスコース	21	
R3	R3.7.20 ～	オンライン版	7	名古屋工業大学
R4	R5.1.10～	オンライン版	11	名古屋工業大学
R5	R6.2.8	アドバンスコース	23	鳥取県
	R6.2.9	エキスパートコース	13	



講習会の様子



モデル事業の勉強会の様子

国土強靱化に資する鳥取県の施策の効果事例

農林水産部農業振興局農地・水保全課

【起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）】

○7-2 ため池、ダム等の損傷・機能不全による二次災害の発生
（農地・森林等の荒廃による被害を含む）

回避するために

【施策プログラム】

○築造年代が古く、決壊により下流の人家等に影響を及ぼすおそれのあるため池の評価及び防災工事、ハザードマップの整備等、総合的な対策を推進する。

（地域計画p118）

ため池ハザードマップの整備

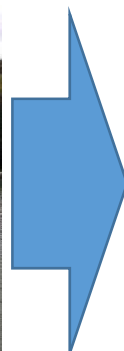


ため池監視カメラの設置

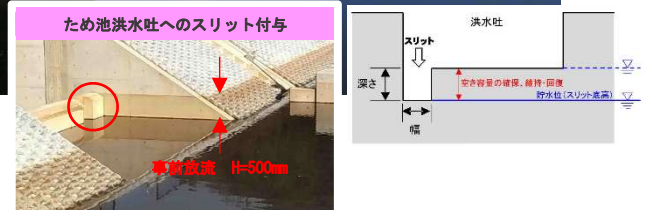


※監視カメラにより荒天時や夜間時においてもため池の水位や状況が把握できる

防災工事の推進（ため池の改修）



防災工事の推進（ため池の廃止）



※洪水吐の越流堰にスリットを設け、大雨前にスリットを開けることで簡易にため池の水位を下げることができ、これにより空き容量が増え、洪水調節機能が強化される。

国土強靱化に資する鳥取県の施策の効果事例

県土整備部河川課

【起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）】

➤ 1-3 ゲリラ豪雨等による市街地の浸水

回避するために

【施策プログラム】

➤ 短期対策として、河川内の樹木伐採・河道掘削、河川堤防強化対策（堤防舗装等）を進める。
（地域計画p85）

防災・減災・国土強靱化の強力かつ計画的な推進について

主要課題

- ◆ 令和5年台風第7号豪雨等、相次ぐ大規模災害の発生
- ◆ インフラ機能強化など国土強靱化対策が急務

令和5年台風第7号の被災状況



課題解決に向けた提案・要望

- ① 県民の安全・安心な生活の創出のため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による**確実な予算確保**
- ② 5か年加速化対策後も「国土強靱化実施中期計画」に基づき計画的かつ**確実な事業実施のため、必要な予算・財源の安定的な措置**
- ③ 「緊急浚渫推進事業債（現行：～令和6年度）」等の**起債制度の恒久化**や対象事業の更なる拡大、要件緩和など、**起債制度の拡充を含めた確実な財源措置等**を行うとともに、**地域の実情に応じた柔軟な対応**を図ること。

【5か年加速化対策による樹木伐採・河道掘削の治水対策の効果事例】

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、緊急浚渫推進事業債の予算を活用しながら、計画的に樹木伐採・河道掘削等を実施してきたところであり、台風第7号において、人的被害がなかったことはこれまでの取り組みの成果。



予算推移(樹木伐採+河道掘削)



国土強靱化に資する鳥取県の施策の効果事例

県土整備部治山砂防課

【起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）】

➤ 1-4 土砂災害等による死傷者の発生

回避するために

【施策プログラム】

- 土砂災害に対しては、ハード対策として土石流対策施設、急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設の土砂災害防止施設の整備を着実に推進する。
(地域計画p86)

防災・減災・国土強靱化の強力かつ計画的な推進について

主要課題（砂防・急傾斜）

- ◆ 令和5年台風第7号豪雨等、相次ぐ豪雨災害等への予防保全対策
- ◆ 防災インフラ整備など国土強靱化対策が急務



令和5年台風第7号の被災状況



【5か年加速化対策により整備促進した砂防設備が早期に効果を発揮した事例】



土石流発生前 (R4年3月)



土石流発生直後 (R5年8月)



<概要>
 ・災害発生日: 令和5年8月15日
 ・降雨状況: 連続雨量 589mm (8月15日0時~16日4時)
 時間最大雨量 77mm (8月15日8時~9時)
 ※佐治町中 雨量観測所
 ・発生箇所: 鳥取県 鳥取市 佐治町 尾際(おわい)
 ・崩壊状況: 土石流捕捉量 約10,000m3
 ・状況: 8月15日の台風7号豪雨により土石流が発生した

【全景】がけ崩れ発生状況



【近景】土砂捕捉状況



土砂及び流木を捕捉。崩壊防止に効果を発揮した。



治山堰堤の捕捉状況

治山堰堤(鳥取市佐治町)

国土強靱化に資する鳥取県の施策の効果事例

県土整備部港湾課

【起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）】

- ① 2-1 物資供給ルートの途絶による支援物資の供給停止
- ② 5-2 交通インフラの被災による物流の途絶

回避するために

【施策プログラム】

- ①緊急輸送道路の耐震化等による機能強化、境港等の海上輸送拠点の耐震化等、陸・海・空の輸送基盤の地震・津波、水害、土砂災害、豪雪対策等を着実に進める。（地域計画p96）
- ②災害発生時の経済活動の継続に必要な物流拠点としての役割を担う港湾、漁港の機能強化を推進する。（地域計画p108）

防災・減災・国土強靱化の強力かつ計画的な推進について

主要課題（港湾・漁港）

- ◆令和5年台風第7号豪雨等、相次ぐ大規模災害の発生
- ◆施設の老朽化が進行しており、計画的な長寿命化対策が急務
- ◆インフラ機能強化など国土強靱化対策が急務

令和5年台風第7号の被災状況



鳥取港泊地閉塞(鳥取市港町)



網代漁港泊地閉塞(岩美町網代)

課題解決に向けた提案・要望

- ①県民の安全・安心な生活の創出のため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による**確実な予算確保**
- ②5か年加速化対策後も「国土強靱化実施中期計画」に基づく計画的かつ**確実な事業実施のため、必要な予算・財源の安定的な措置**
- ③海上輸送ネットワークの強靱化や、港湾・漁港・漁場施設の機能保全に向けた防災・減災、国土強靱化等を推進し、**港湾・漁港施設の老朽化対策等に必要な予算を配分すること。**

【5か年加速化対策による港湾・漁港の防災対策の効果事例】

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の予算を活用しながら、鳥取港第2防波堤の嵩上げを実施してきたところであり、令和5年台風第7号において、港内への流木等の乗越え流入が減少したことはこれまでの取り組みの成果。

H29.9台風18号

鳥取港
港内

流木等が
乗越え流入

第2防波堤

千代川



第2防波堤
嵩上げ実施

R5.8台風7号

鳥取港
港内

嵩上げコンクリート

乗越え流入
減少

第2防波堤

千代川

国土強靱化に資する鳥取県の施策の効果事例

県土整備部道路建設課・道路企画課

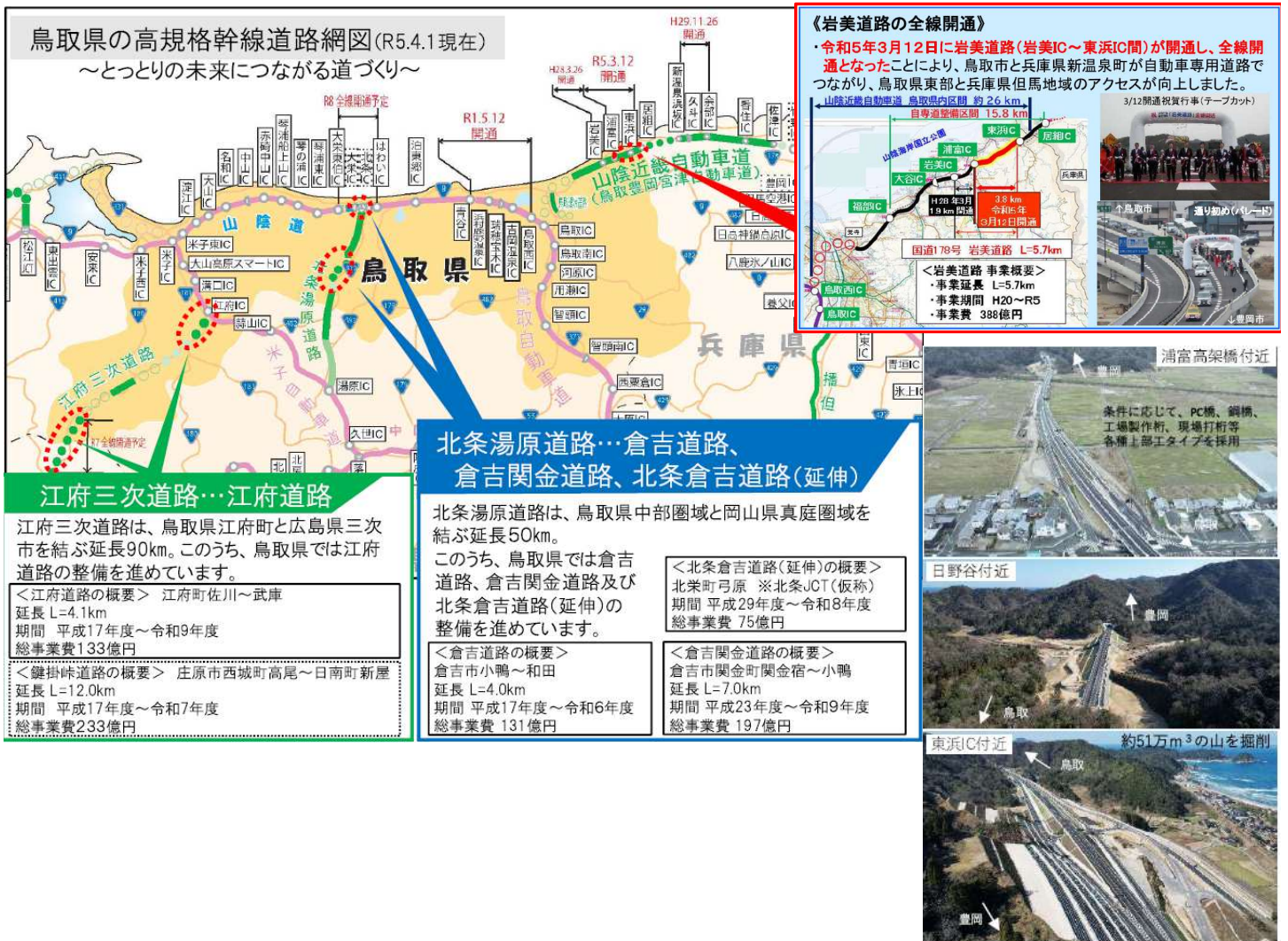
【起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）】

- ① 2-1 物資供給ルートの途絶による支援物資の供給停止
- ② 5-2 交通インフラの被災による物流の途絶
- ③ 8-4 緊急輸送道路の損壊等による復旧・復興活動の遅れ

回避するために

【施策プログラム】

○防災拠点への物資輸送や救助救援、その後の復旧活動のため、「命の道」となる山陰道、**山陰近畿自動車道**、北条湯原道路、江府三次道路等の整備促進によるミッシングリンクの解消（地域計画p96）



国土強靱化に資する鳥取県の施策の取組事例

県土整備部

【起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）】

➤ 1-4 土砂災害等による死傷者の発生

回避するために

【施策プログラム】

➤ 土砂災害の種類や危険性等を知り、自らが命を守る意識を醸成するため、地域や企業等 への出前講座、裏山診断、小中学生への防災教育等を推進する。

(地域計画p87)

要請のあった小中学校に土木技師職員が出向き、出前講座を実施。



R5城北小学校

R5八東小学校



〈実績〉

令和3年度	小学校15校	457名	中学校2校	140名
令和4年度	小学校15校	519名	中学校1校	100名
令和5年度	小学校13校	446名	中学校なし	